

# コロナ県内新たに41人

## 介護施設でクラスター

総人数	2993 (+41)
直近1週間	108(+33)
人口10万人当たり	14.0(+4.3)
死亡	36(0)
重症	0(0)
中等症Ⅱ	3(-1)
軽症ほか	109(+11)
宿泊療養施設	23(+9)
県外入院療養	0(0)
退院	2822(+22)
病床占有率	26.4%
ICU占有率	0.0%

※カッコ内は前日からの増減。単位は人  
 ※現在の病床数は424。占有率には県外で感染確認された人を含む

### 県内の新型コロナウイルス感染状況(22日)

と高齢者が多いが全員軽症か無症状で、重症化した感染者はいない。  
 女性職員からは同居家族一人も感染している。そのほか、仕事で県外の人と接触があった女性とその別居親族三人、仕事で九州に行

った男性などの感染が分かった。  
 感染者の累計は二千九百九十三人。市別では越前市三十人、鯖江市五人、福井市と坂井市、池田町が各二人。  
 (掌下佳鈴、玉田能成)

## 施設陽性者 33人全員2回接種

クラスターが発生した施設「シルバーケア藤」について県は、陽性となった職員と利用者計三十三人全員による身体接触が感染拡大し

た要因とみられるという。県によると三十三人は五月六月にかけて、二回目の接種を終え、施設は感染対策

が徹底されていた。二回目の接種後、一週間が経過して陽性になる「ブレイクスルー感染」の特徴には、寝起きをともにすることや身体接触が挙げられ、県健康福祉部の窪田裕行部長は「ど

ちらも今回のケースに当てはまってきていると説明。主流のデルタ株は初期症状が軽い特徴があることや、ワクチンの効果で症状が軽く、気付きにくいことも要因として考えられるとした。

この施設の三十三人を含め、県内でブレイクスルー感染となったのは九十三人で、二第五波以降の全陽性者の約6%。窪田部長は「軽い症状でも仕事や学校などに行かず、まずはかかりつけ医などで受診や相談をしてほしい」と改めて呼び掛けた。(玉田能成、掌下佳鈴)

県は二十一日、新たに十歳未満から九十代の男女四十一人が新型コロナウイルスに感染したと発表した。そのうち三十二人は越前市の介護老人保健施設「シルバーケア藤」の利用者と職員。県はこの施設でクラスター(感染者集団)が発生したと認定した。一カ所で一度に三十人以上の感染が確認されたのは県内初。新型コロナウイルス関連の①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

同施設は、二十一日に陽性と発表された女性が勤務する職場で、職員や利用者、併設する病院の職員など施設関連で百八十九人を検査した。その結果職員十二人と利用者二十人の計三十二人が陽性だった。感染は同じフロア内が目立った。残りの職員や利用者ら十一人も検査する。  
 感染者三十三人のうち三十一人(利用者二十人、職員一人)は七十代、九十代